

第5期 令和2(2020)年度 新宿区多文化共生まちづくり会議 第1回 第1部会 議事概要

日 時 2021年3月9日（火）10:00～12:00

場 所 しんじゅく多文化共生プラザ 多目的スペース

出席委員 小林委員、郭委員、松田委員、李委員、金（勲）委員、ブサン委員、ドゥラ委員、江副委員、
盛委員、安藤委員、タイン委員、本多委員 12名

欠席委員 毛受委員、パトリック委員、朴委員、井上委員 4名

1 開会

2 部会長の選出

3 議事

（1）前回会議議題「新型コロナウイルスによる影響について」

事務局から説明があった。

（2-1）部会の運営について

事務局から前回会議議題「これまでの会議の振り返り」と「第5期審議の進め方」の意見まとめ
について説明があった。その後、委員からご意見をいただいた。

- ・外国人からすると初めてのまちに入るときに不安感があるが、逆に、日本人も外国人にこうしてほしいという希望もあると思う。日本語のレベルによってサポートを振り分け、ルールを教えてもらえれば初めて住む外国人も混乱しなくて済む。
- ・自身も外国人の立場で長く日本に住んでいるが、日本人が外国人に守ってほしいと思う部分がどのようなものなのか分からないと感ずることがある。
- ・審議において、生活をサポートする機能をいかに充実させるかという点は、大切な論点だと思う。また、新しく来られた方にとっては生活に関する情報というのが極めて大切である。
- ・生活をサポートする機能をいかに充実させるかということを中心に据えながら、例えば仕事、子育て、住まいといった項目に分けながら議論を進めると良いのでは。
- ・スタートガイドの動画は、幾つか改善点もあるように思うので、これを土台にしながら各委員の意見を伺ってはどうか。
- ・情報を入手する際には、スマホ、ホームページ、SNSを使用するので、情報提供について審議するのは大切だと思う。
- ・地域での生活で消費者トラブルの啓発や情報提供は、必要だと思う。また、自身の苦い経験から医療情報も加えてほしい。
- ・外国人住民を受け入れるだけでなく、そこから住み続けるということを主眼に置いて話し合うことが大切だと思う。受入れ、そこからサポートへ繋げるような仕組みを考え、プラザから繋がった人へ情報

提供を続けていくような仕組みがあると良い。

- ・ホームページや紙の資料等、情報媒体は様々なものがあるが、始めて来た外国人には口頭が良いのでは。コミュニケーションになるし、覚えていられると思う。
- ・区役所で手続き中の待ち時間を利用して、ビデオの上映や相談できるアドバイザーと話す機会等のサービスが出来ると良いと思う。
- ・外国人は転入手続きのときに区役所に来庁することになるので、様々な情報提供をするのにいい機会である。外国人にビデオを見せたり、口頭で説明したりすると良いと思う。
- ・他国に住む外国人にとって大事なことは、ビザのことである。ビザに関連することで住むときのルールを取り上げると外国人は守ると思う。また、日本の文化とルールについて、どちらが文化でルールなのかははっきりしていないと感じる。
- ・コロナに関して日本ではルールを守らなくても罰金がない。外国人にとっては、ダメなものの良いものがはっきりしている方が分かりやすい。
- ・ルールの背景が分からないとルール自体も理解できなくなってしまう。ルールの後ろにあるのは、文化である。ルールは生活するときに生活の中で習得しておかないと分からない部分もあるので、お互いに情報交換をやっていくべきだと思う。
- ・スタートガイドの動画やパンフレット等、色々作っているので材料はある状態。情報を取らないで終わってしまう人も多いはずなので、どうパーツをつなげて、もっと有効に効果があるようにパーツを使うのかというところを考えてもいいと思う。
- ・外国人が区役所に来庁するときには、どのような流れになっているのか、待ち時間やどのような資料を渡しているのか。見学できるか不明なので、簡単にどのような形か説明してもらえると勉強になる。
- ・自分が新宿区に住むということを頭に入れて、そのための勉強としてスタートブックをまず見てみるのはいかがでしょうか。
- ・スタートガイドを私たち委員が見ることが大事だと思う。その上で不足点を議論できると良い。
- ・外国人が日本人と交流する機会を増やすのが難しいと感じる。イベントの企画等についても話し合いたい。
- ・お互いを知るために会議以外のところでも委員同士がコミュニケーションを取る機会がほしい。
- ・会議の中で、幾つかの班に分けて議論した後に全員で議論する形も検討したい。

(2-2) 部会の運営について

各委員からの意見を基に今後審議していただく予定の項目について、まとめていただいた。

- ・現状の情報提供について洗い出しと問題点、それをワンストップセンターに生かすためにはどうしたら良いかを検討する。
- ・スタートガイドの動画を見て、気になる点の洗い出しと議論をする。

- ・事務局から区の現状説明を聞き、改善点を議論する。
- ・生活をサポートする機能をいかに充実させるかを中心にルール（と文化）の仕分け、情報提供のあり方も含め議論する。
- ・情報提供の方法（ICTの活用、SNSの発信、イベントの開催等）について議論する。
- ・9月までの中間まとめの議論を踏まえてその後の内容を検討する。（仕事、子育て、防災等）

（3）その他

事務局から事務連絡（参考資料の説明等）があった。

（4）次回の日程

事務局から次回会議の日程（2021年5月開催予定）について説明があった。

4 閉会